

# 事業報告書

平成23年度

(第4期事業年度)

自 平成23年 4月 1日

至 平成24年 3月31日

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構

## I 地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構の概要

### ①設立目的

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構は、地方独立行政法人法に基づき、医療の提供、医療に関する調査及び研究等を行うことにより、庄内地域等の医療政策として求められる高度専門医療を提供し、及び当該地域における医療水準の向上を図り、もって住民の健康の維持及び増進に寄与することを目的とする。

### ②事業内容

- (1) 医療の提供に関すること。
- (2) 医療に関する調査及び研究に関すること。
- (3) 医療に関する技術者の研修に関すること。
- (4) 医療に関する地域への支援に関すること。
- (5) 災害時における医療救護に関すること。
- (6) 前各号に掲げる業務に附帯する業務に関すること。

### ③主たる事務所 酒田市あきほ町30番地

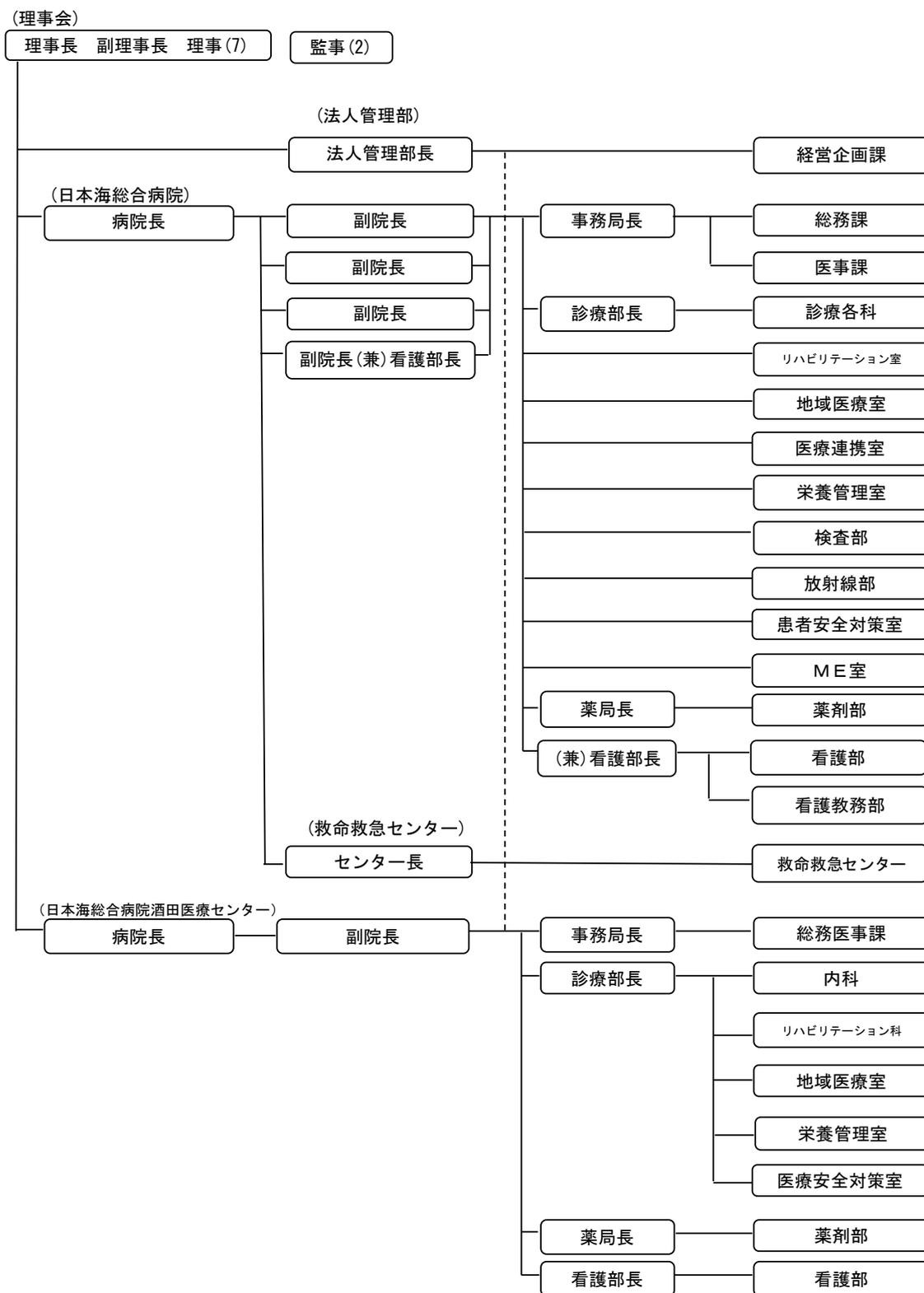
### ④役員

職名	氏名
理事長	栗谷 義樹
理事	豊田 幹夫
理事	田宮 和朗
理事	島貫 隆夫
理事	小熊 正樹
理事	佐藤 三紀
理事	脇川 清道
監事	齋藤 俊勝
監事	加藤 栄

### ⑤ 設置、運営する病院

日本海総合病院	酒田市あきほ町30番地
日本海総合病院酒田医療センター	酒田市千石町2丁目3番20号

⑥ 組織



⑦ 職員の状況（平成23年10月1日現在）

職 種	法人管理部			日本海総合病院			酒田医療センター			計		
	H23	H22	増減	H23	H22	増減	H23	H22	増減	H23	H22	増減
医師・歯科医師				121	107	14	4	4	0	125	111	14
医療技術員				114	111	3	18	11	7	132	122	10
看護職員				549	551	△ 2	33	41	△ 8	582	592	△ 10
事務・技師・技労	7	7	0	29	52	△ 23	7	11	△ 4	43	70	△ 20
計	7	7	0	813	821	△ 8	62	67	△ 5	882	895	△ 6
法人職員	3	2	1	745	406	339	57	53	4	805	461	346
派遣職員(県)	1	3	△ 2	61	405	△ 344				62	408	△ 343
派遣職員(市)	3	2	1	7	10	△ 3	5	14	△ 9	15	26	△ 9

⑧ 資本金の状況

8, 745, 712, 678円（平成23年9月28日変更登記時）

## ◇平成23年度の事業概要

### 1 診療計画及び診療に関する重点事項

#### (1) 診療計画

平成23年度は、第1期中期計画の最終年のため、診療計画についても中期計画で予定していた内容について再点検し、総仕上げを行った。

平成22年度に増築・改修工事が完成した日本海総合病院は、地域の中核病院として急性期医療の充実に努めるとともに、日本海総合病院酒田医療センター（以下「酒田医療センター」という。）においては、療養病床等の増築・改修工事に着手した。

日本海総合病院では、平成23年4月1日に「救命救急センター」を開設し、これまで空白地域であった庄内地域、最上地域の一部を範囲とする3次救急医療体制を強化することに伴い人員体制等を整備した。

酒田医療センターにおいては、平成22年度中に日本海総合病院への診療科の移行が行われ、療養病床への転換を行った。また、地域の医療機能の向上を着実に推進するため、回復期リハビリテーションへの取り組み、デイケアへの取り組みなどを行った。

#### ①日本海総合病院の体制

##### 日本海総合病院の機能

規 模	646床
診 療 科  (25科)	内科、循環器内科、消化器内科、内視鏡内科、精神科、神経内科、小児科、外科、乳腺外科、小児外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、リハビリテーション科、皮膚科、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科
施 設 基 準	一般病棟
併設診療機能	救命救急センター
特殊診療機能	ICU（集中治療室）、HCU（準集中治療室） 未熟児室 感染症病床 放射線治療 外来がん化学療法 セカンドオピニオン外来 緩和ケア 人工透析（急性期） 人間ドック 地域医療室（地域連携・在宅療養支援など） がん相談支援室
救急外来機能	診療科全般
そ の 他	屋上ヘリポート、院内保育所（病児・病後児保育機能）、重症心身障がい児（者）短期入所

## ②酒田医療センターの体制

平成23年度は、療養病床としての機能拡充のための増築・改修工事に着手した。平成24年度の施設整備完了までは暫定的に西棟を療養病棟として活用する。

### 酒田医療センターの機能

規 模	114床
診 療 科 (2科)	内科、リハビリテーション科
施 設 基 準	療養病棟
特殊診療機能	地域医療室（地域連携・在宅療養支援など）
そ の 他	病院間移動用ワゴン車

## (2) 診療に関する重点事項

### ①診療体制の整備

医療需要の質的・量的変化や新たな医療課題に適切に対応するため、平成23年度は、次のとおり診療部門の充実及び見直しを行った。

#### a) 救急医療

○平成23年4月1日に日本海総合病院救命救急センターを開設した。

・平成23年度は、延べ23,856名の患者が受診した。

○日本海総合病院において、酒田地区医師会の協力による小児救急外来に対する診療支援の継続と、平成23年4月からは成人系の救急外来に対する診療支援が行われた。

・平成23年度は、小児救急外来診療支援として延べ830名の患者に、成人系の救急外来に対する診療支援として延べ1,914名の患者に実施された。

○平成23年4月1日、酒田地区広域行政組合の「酒田救急ワークステーション」が設置された。

#### b) がん医療

○地域がん診療連携拠点病院として、がん登録機能、相談支援体制の充実を図った。

・平成21年度から、がん相談員として専従の看護師が配置されている。

平成23年度は、社会福祉士1名が「相談支援センター相談員基礎研修(3)」を受講し、がん相談員を3名体制とした。

・平成20年度から平成23年度までの相談件数は次のとおりである。

H20	H21	H22	H23
161件	438件	580件	934件

○PET/CTの新設のための増築工事を行った。

○外来がん化学療法の充実

・平成23年度は、日本海総合病院で延べ3,896名の患者に行った。

○緩和ケア医療の充実

- ・平成20年度から緩和ケアチームに緩和ケア認定看護師を専従として配置し、毎週1回の緩和ケアチームカンファレンスと病棟回診を定着させ、いつでも相談が受けられる体制を整えた。平成23年度から回診を週3回とし、延べ383名の患者に行った。

また、緩和ケア外来の診察時間を平成21年度から拡大した。平成23年度の受診者は延べ100名であった。

○セカンドオピニオン外来の充実

- ・平成20年度から平成23年度までの相談件数は次のとおりである。

H20	H21	H22	H23
5件 (がん3件)	3件 (がん3件)	5件 (がん2件)	2件 (がん2件)

c) 脳卒中・急性心筋梗塞

○専門的医療やCT・MRI検査の24時間対応

- ・平成20年度から平成23年度までの実施件数は次のとおりである。

病院名	機器	H20	H21	H22	H23
日本海総合病院	CT	17,353件	17,261件	21,358件	25,512件
	MRI	4,969件	4,644件	5,997件	8,351件
酒田医療センター	CT	9,023件	9,052件	4,368件	
	MRI	3,731件	3,886件	2,188件	

○急性期リハビリテーションの充実

- ・平成21年度から届出していた心大血管リハビリテーション料Iについて、より充実したリハビリテーションが行えるよう、人員体制及び機器の整備を行った。

d) 糖尿病

○チーム医療による食事療法、運動療法、薬物療法等を組み合わせた教育入院等の集中的治療を行った。

- ・平成23年度は、79名の患者の集中的治療を行った。

e) 在宅医療支援及び療養支援

○在宅医療支援及び地域の介護・福祉・医療の各機関との連携を強化するため、日本海総合病院の地域医療室は8人体制（内1名は臨時職員）、酒田医療センターは4人体制で、訪問看護、退院調整および入院前面談等を実施した。

- ・平成23年度は日本海総合病院で合計1,899名、酒田医療センターで合計229名の退院調整を行った。その内訳は次のとおりである。

病院名	他病院	在 宅	介護老人 保健施設	特別養護 老人ホーム	ショート ステイ	有料老人 ホーム	その他
日本海総合病院	874名	502名	73名	164名	127名	78名	81名
酒田医療センター	32名	113名	47名	10名	9名	9名	9名

・酒田医療センターでは延べ374件の入院前面談を行い、365名が入院した。

f) その他

○患者の利便性確保のため運行してきた患者移動用ワゴン車「げんき号」については、平成23年度も継続して運行した。

②災害時における協力

○災害時には、災害拠点病院として患者の受け入れを行った。

○平成23年度は、次の災害医療対策訓練等に参加した。

訓練実施日	訓練名称	参加者	会場
H23. 6. 18 ~19	DMA T 技能維持研修	6名	宮城県仙台市
H23. 8. 26	酒田地区消防BC災害対応訓練	4名	酒田市東ソー社敷地内
H23. 9. 4	酒田市防災訓練	4名	酒田市立第3中学校
H23. 9. 21	日赤こころのケア研修	6名	天童市
H23. 10. 22 ~23	日本DMAT 東北地方会参集訓練	5名	秋田県各地
H23. 11. 26	山形県災害時医療救護訓練	12名	三川町山形県消防学校
H24. 2. 4 ~5	DMA T 技能維持研修	2名	宮城県仙台市
H24. 2. 9 ~11	NBC災害・テロ対策研修	5名	東京都立川市
H24. 2. 25	院内災害時受入訓練（机上）	50名	日本海総合病院

○国の補助などを活用し、次の災害医療対策用機器を整備した。

	機材	機器名	メーカー	規格	数量	備考
災害拠点病院設備	情報通信 端末	衛星携帯電話 +外部アンテナ	トコモ	ワイドスター-II	1	第3次補正分
	応急用医療 資機材	簡易業務用無線 システム	スタンダード	VXD-10	12	第3次補正分
		ポータブル発電機	ヤマハ	EF2800ISE	2	第3次補正分
		屋内仕切用テント	さくらコーポレーション	おたすけてんと2	3	第3次補正分
災害医療チーム体制整備	情報通信 端末	衛星携帯電話	トコモ	ワイドスター-II	1	第3次補正分
	応急用医療 資機材	簡易業務用無線	スタンダード	VXD-10	8	第3次補正分
		DMA T用モバイル PC	パナソニック	Let'snote S9 ほか	1	病院予算
		FAX付プリンタ	キャノン	MF4580DN	1	第3次補正分
		ポータブル発電機	ヤマハ	EF16HIS	1	第3次補正分
		生体情報モータ	東機質	プロハックLT	1	第3次補正分
		輸液ポンプ	テルモ	TE161S	1	第3次補正分

○医療スタッフを現地に派遣して医療救護活動を行った。

・平成23年度の医療救護活動の実績は、次のとおりである。

活動期間	派遣形態	派遣人数	活動地域	備考
H23. 4. 9~13	県救護班	6名	岩手県宮古市	東日本大震災
H23. 4. 23~25	日赤救護班	4名	福島県会津坂下町ほか	東日本大震災
H23. 5. 14~17	県救護班	6名	宮城県気仙沼市	東日本大震災
H23. 5. 23~25	日赤救護班	4名	福島県会津若松市ほか	東日本大震災

### ③政策医療の実施

○先進医療の届出を行い、大腸がんに対する「内視鏡的大腸粘膜下層剥離術」を先駆けて導入し、患者の身体的負担の少ない専門的治療を行った。

・平成23年度は、35名の患者に治療を行った。

○「がん」の早期発見・早期治療、生活習慣病対策および地域住民の健康維持のため、日本海総合病院で1泊2日人間ドックを行った。

・平成23年度は111名の利用があった。

○日本海総合病院に「認知症疾患医療センター」を新たに開設し、老人性認知症患者の専門医療相談、鑑別診断等について充実を図った。

・平成23年度の相談件数は、新規相談件数が645件、継続相談件数が300

件であった。

#### ④優れたスタッフの確保

##### a) 優秀な医師の確保と医師の負担軽減

○高度専門医療等の水準を維持・向上させるため、大学等関係機関との連携の強化を図った。

○教育研修体制の充実を図り、臨床研修医及びレジデント（専門分野の研修医をいう。）の受入れを行った。

・平成20年度から平成23年度までの受入れ件数は次のとおりである。

区分	H20	H21	H22	H23
臨床研修医	9名	4名	6名	14名
レジデント	6名	10名	10名	12名

○医師の負担の軽減を図るため、各病棟などに医療クランク60名を配置した。

##### b) 看護職及び医療技術職の専門性の向上

○より質の高い看護を提供するため、次の研修会を実施した。

実施期間	対象者	人数	研修内容
H23.7.28	看護職	6名	「看護研究(個人):研究計画書に基づき、個別指導を通して看護研究実践能力を高める」 山形大学 医学部看護学科 地域看護学講座 教授 細谷 たき子 先生
H23.7.28	看護職	30名	「看護研究(部署):研究計画書に基づき、個別指導を通して看護研究実践能力を高める」 山形大学 医学部看護学科 地域看護学講座 助教 森鍵 祐子 先生
H23.8.23	看護職	123名	「ヘンダーソンの看護理論」 酒田市立看護専門学校 副学校長 草刈 妙 先生
H23.11.21	看護職	6名	「集計に必要な統計手法の個別指導を通して看護研究をまとめることができる」 山形大学 医学部看護学科 地域看護学講座 教授 細谷 たき子 先生
H23.11.21	看護職	30名	「集計に必要な統計手法の個別指導を通して看護研究をまとめることができる」 山形大学 医学部看護学科 地域看護学講座 助教 森鍵 祐子 先生

・平成23年度は、1名が救急看護認定看護師の資格を取得した。

・看護補助者について、日本海総合病院で81名、酒田医療センターで15名配置し、看護師が本来業務に専念できるよう体制整備を図った。

○薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師等の技術職について、研修等を充実し、専門技能の向上を図った。

## ⑤地域連携の推進

○庄内地域における中核的な医療機関としての役割を果たすとともに、他の医療機関との役割分担と連携を強化し、地域医療機関との紹介率・逆紹介率の向上等に取り組んだ。

・平成20年度から平成23年度までの紹介率・逆紹介率は次のとおりである。

病院名		H20	H21	H22	H23
日本海総合病院	紹介率	52.5%	52.7%	60.9%	62.3%
	逆紹介率	34.0%	32.3%	38.3%	46.3%
酒田医療センター	紹介率	46.0%	48.5%	48.0%	

※紹介率(%) = (紹介患者の数+救急入院患者の数) / 初診患者の数 × 100

※逆紹介率(%) = 逆紹介患者の数 / 初診患者の数 × 100

※酒田医療センターの平成22年度は、4月から10月までの数値である。

○平成23年4月1日から稼働した「ちようかいネット」に加入し、地域の医療施設と診療情報の共有化を推進した。(日本海総合病院の電子カルテ情報を、連携機関にインターネットを利用して公開するシステム)

○がん対策基本法に定める「5大がん」の地域連携クリティカルパスを作成した。

・平成23年度の適用件数は、次のとおりである。

肺がん	大腸がん	肝がん	乳がん	胃がん
4件	16件	0件	7件	14件

○大腿骨頸部骨折地域連携パスを、111名の患者に適応した。

○地域包括支援センターや地域の介護・福祉機関との連携を強化し、介護・福祉機関への患者情報の提供や、退院時カンファレンスの取組みの強化等により、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービスを提供した。

## ⑥クリティカルパスの活用

○効果的な医療を提供し患者負担を軽減するため、電子カルテをベースにしたクリティカルパスの作成及び適用を推進した。

・平成23年度の実績は、パス登録件数が193件(うち新規作成33件)、疾患別登録件数が115件(うち新規作成12件)、適応件数が6,620件、適応率が41.3%だった。

## ⑦庄内地域における医療水準の向上

○地域の中核的な医療機関として、山形大学、東北大学、公立大学法人山形県立保健医療大学、県立病院などとの人材交流や研修を通して質の高い医療従事者の育成を推進した。

○鶴岡市立庄内病院との連携強化を図るために、相互に医療講演会を実施した。

○平成23年度に、山形大学医学部先端分子疫学研究所の分室を日本海総合病院内に置き、「グローバルCOEネットワーク事業」(文部科学省)による地域の疫学研究活動に協力した。

### ⑧住民の意識の啓発

○地域住民を対象としたセミナー、広報などを積極的に行い、住民の医療や健康に対する意識の啓発に努めた。

- ・患者、地域住民向けの広報誌「あきほ」を年間4回発行して、病院機構の様々な情報提供に努めた。
- ・酒田市民を対象とした出前講座や地域住民を対象とした説明会などに参加し、病院の運営状況全般について説明した。
- ・病院機構と2病院のホームページについては、最新の情報提供を図った。
- ・地域がん診療連携拠点病院として、地域住民を対象に講演会等を開催し、健康に対する意識の啓発・情報提供事業を行った。

日時等	事業内容	備考
H23.9.25	「急増する大腸癌ーこんなに進歩した大腸癌治療ー」 がん・感染症センター都立駒込病院 外科部長 高橋 慶一 先生	220名参加

○他の医療機関が行うセミナー等への職員派遣について協力した。

### (3) 患者・住民サービスの一層の向上

○自動再来受付機をエントランスホールに1台増設、救命救急センター入口に2台を新たに設置した。

○「患者の声」の院内掲示及び病院ボランティアとの意見交換会を行い、患者・住民の目線に立ったサービスの向上に取り組んだ。

○ホームページの充実による病院情報の発信力の強化を図った。

○日本海総合病院において、平成20年度から継続して重症心身障がい児（者）短期入所事業を行った。利用状況（延べ人数）は、次のとおりである。

H20	H21	H22	H23
20名	26名	36名	30名

○地域の子育て支援と児童の健康、安心の向上を図るため、日本海総合病院の院内保育所を増築して、平成23年11月15日から病児・病後児の「保育と看護」を医療隣接型で実施し94名の利用があった。

### (4) 施設整備等に関する住民への広報

○酒田医療センターの施設整備期間中における、入院案内、駐車場確保、出入口の変更等について、酒田市広報及び広報誌「あきほ」で住民への周知を行った。

#### (5) 法令等の遵守と情報公開の推進

○法令等に基づき、医療従事者としての行動規範、倫理等について規則化し、研修体系について検討を行った。

○インフォームド・コンセントを徹底するほか、カルテ等医療情報の情報開示については、山形県情報公開条例及び個人情報保護条例の適用のもとに、県の機関に準じて行った。

・平成20年度から平成23年度までの実績は、次のとおりである。

病院名	H20	H21	H22	H23
日本海総合病院	21件	27件	28件	32件
酒田医療センター	3件	2件	4件	4件

## 2 施設設備整備

### (1) 統合再編に係る施設整備

酒田医療センターの増築・改修工事に着手した。

#### ◆酒田医療センターの施設整備内容

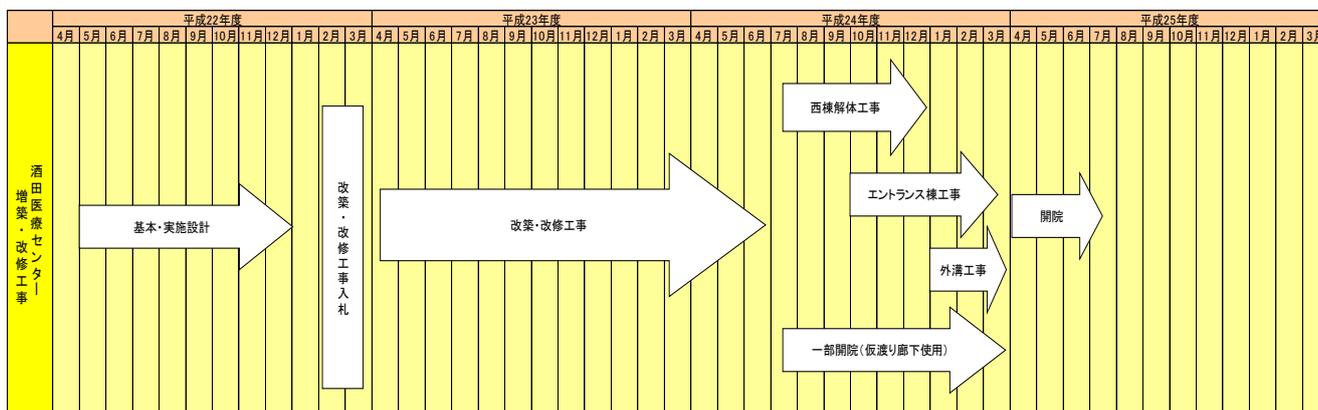
項 目	内 容
東棟改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 70床の医療療養病床(2病棟)</li> <li>・ 機能訓練室</li> <li>・ 事務室</li> </ul>
回復期リハビリテーション病棟増築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 44床の回復期リハビリテーション病床</li> <li>・ デイケア施設</li> <li>・ 給食施設</li> </ul>
エントランス棟	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正面玄関</li> <li>・ 東棟と回復期リハビリテーション病棟の接続</li> </ul>

※西棟解体は東棟改修、回復期リハビリテーション病棟増築の完成後に実施予定。

#### <施設整備のスケジュール>

酒田医療センター（予定）

- ・ 基本設計・実施設計：平成22年度
- ・ 工事期間：平成23年度から平成24年度



### (2) 高度医療機器の計画的な更新・整備

○高度専門医療等の充実のため、平成23年度は次のとおり高度医療機器の更新・整備を行った。

診療科	機 器 名	備 考
心臓血管外科	経食道用超音波診断装置	新規
放射線科	ガンマカメラシステム	更新
放射線科	デジタルマンモグラフィシステム	更新

【平成23年度における医療機器・施設整備に関する実績】

(単位：百万円)

区 分	執 行 額	財 源
資本支出		
建設改良費	1, 6 4 7	設立団体からの
日本海総合病院 PET 棟整備	2 5 7	長期借入金、
同上 一般改修	6 7	出資（出資債）、
酒田医療センター増築・改修等	8 5 6	及び自己資金
医療機器整備 等	4 6 7	

### 3 患者数の見込みと収支計画

平成23年度における患者数と収支については以下のとおりである。

#### (1) 患者数 (平成23年度)

区 分	日本海総合病院			酒田医療センター			計		
	H 2 2	H 2 3	増減	H 2 2	H 2 3	増減	H 2 2	H 2 3	増減
延入院患者数 (人)	173,641	203,310	29,669	40,817	24,787	△16,030	214,458	228,097	13,639
実入院患者数 (人)	14,593	17,354	2,761	2,638	365	△2,273	17,231	17,719	488
入院/1日 (人)	475.7	555.5	79.8	111.8	67.7	△44.1	587.5	623.2	35.7
病床利用率 (%)	82.8	86.0	3.2	74.3	62.7	△11.6	—	—	—
病床回転率 (%)	255.6	260.7	5.1	200.1	44.5	△155.6	—	—	—
平均在院日数 (日)	11.9	11.7	△0.2	15.2	68.5	53.3	—	—	—
延外来患者数 (人)	280,100	339,475	59,375	54,075	459	△53,616	334,175	339,934	5,759
新外来患者数 (人)	28,333	31,317	2,984	5,975	32	△5,943	34,308	31,349	△2,959
外来/1日 (人)	1,152.7	1,391.3	238.6	222.5	1.9	△220.6	1,375.2	1,393.2	18.0
病 床 数 (床)	646	646	0	114	114	0	760	760	0

#### (2) 患者一人当たりの診療単価 (平成23年度)

(単位:円)

日本海 総合病院	H 2 2	H 2 3	増 減	酒田医療 センター	H 2 2	H 2 3	増 減
入 院	53,385	55,052	1,667	入 院	35,349	16,081	△19,268
外 来	11,249	11,165	△84	外 来	8,299	2,372	△5,927

## (3) 予算及び決算

(単位：百万円)

区 分	予算額 (当初)	決算額	差額 (決算－予算)
収 入	19,660	21,110	1,450
営業収益	15,810	16,540	730
医業収益	15,261	15,923	662
運営負担金	549	617	68
営業外収益	1,207	1,354	147
運営費負担金	1,086	1,175	89
その他	121	179	58
資本収入	2,643	2,230	△413
運営費負担金等	1,070	1,699	629
長期借入金	797	524	△273
その他（補助金等）	776	7	△769
その他の収入	—	986	986

(単位：百万円)

区 分	予算額 (当初)	決算額	差額 (決算－予算)
支 出	19,270	18,994	△276
営業費用	14,923	14,710	△213
医業費用	14,691	14,517	△174
給与費	7,711	7,858	147
材料費	4,083	3,886	△197
経費	2,820	2,718	△102
資産減耗費	5	4	△1
研究研修費	72	51	△21
一般管理費	232	193	△39
営業外費用	771	752	△19
資本支出	3,563	3,343	△220
建設改良費	1,866	1,647	△219
長期借入金返還金	1,696	1,696	0
その他	1	—	△1
その他の費用	13	189	176

## (4) 収支計画

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)
収入の部	17,017	20,086	3,069
営業収益	15,810	16,611	801
医業収益	15,261	15,905	644
運営費負担金収益	549	617	68
資産見返運営費負担金戻入	—	89	89
営業外収益	1,207	1,349	142
運営費負担金収益	1,086	1,175	89
その他医業外収益	121	174	53
その他の収入	—	2,126	2,126
支出の部	17,009	19,775	2,766
営業費用	16,225	16,594	369
医業費用	15,993	16,405	412
一般管理費	232	189	△43
営業外費用	771	949	178
その他の費用	13	2,232	2,219
純 利 益	8	311	303
目的積立金取崩額	—	—	0
総 利 益	8	311	303

## (5) 資金計画

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)
資金収入	25,471	28,474	3,003
業務活動による収入	17,017	18,602	1,585
診療業務による収入	15,261	15,766	505
運営費負担金による収入	1,635	2,697	1,062
その他の業務活動による収入	121	139	18
投資活動による収入	1,070	1,393	323
運営費負担金による収入	1,070	1,390	320
固定資産の売却による収入	—	3	3
財務活動による収入	1,573	840	△733
長期借入による収入	797	524	△273
補助金による収入	776	316	△460
前年度からの繰越金	6,081	7,639	1,558
資金支出	19,270	26,030	6,760
業務活動による支出	15,707	15,303	△404
給与費支出	7,711	7,743	32
材料費支出	4,083	4,012	△71
その他の業務活動による支出	3,913	3,548	△365
投資活動による支出	1,867	9,016	7,149
有形固定資産の取得による支出	1,866	2,116	250
その他投資活動による支出	1	6,900	6,899
財務活動による支出	1,696	1,711	15
長期借入金の償還による支出	231	233	2
移行前地方債償還債務の償還による支出	1,465	1,474	9
その他財務活動による支出	—	4	4
翌年度への繰越金	6,471	2,444	△4,027

#### 4 その他業務運営に関する事項

##### (1) 就労環境の整備

- 院内保育所「あきほ保育園」については、24時間保育所の運営の継続と入園定員枠を35名に増員した。
- 院内保育所「あきほ保育園」に別棟の増築を行い、酒田市の病児・病後児保育事業を受託することに伴い、職員の子育て支援の拡充を図った。
- 日本海総合病院の職員駐車場約100台分の拡充を行った。

##### (2) 酒田市立酒田看護専門学校への支援

酒田市立看護専門学校における看護教育業務を病院機構が受託したため、看護教務部を組織化して看護職員を看護学校に常駐させた。また、看護教員を希望する看護師の教職免許取得のための支援を行った。